

ニューロナーズの疑問に答える！

脳神経疾患画像診断レクチャー

疾患の基礎知識、画像を見るときのポイントなど
脳神経疾患画像にまつわるナーズの素朴な疑問に
1問1答形式でズバッとお答えします！



企画

土屋一洋 (杏林大学医学部 放射線医学教室 准教授)

つちや・かずひろ：1980年 北海道大学医学部卒業、
同年 東大附属病院 放射線科 研修医、1981年 同 助
手、1984年 公立昭和病院 放射線科 科長、1985年
防衛医科大学校 放射線医学教室 助手、1993年 杏林
大学医学部 放射線医学教室 講師を経て、2000年よ
り同 助教授 (2007年より准教授)。

執筆

片瀬七朗 (東京都多摩南部地域病院 放射線科)

土屋一洋 (杏林大学医学部 放射線医学教室 准教授)

第4回 脳血管障害・ 脳血管奇形

① 脳動静脈奇形-1

症例

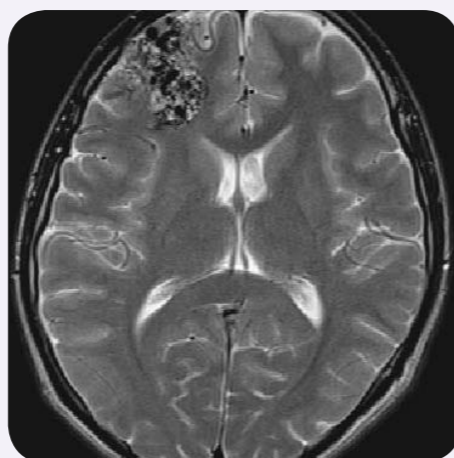
18歳の男性

頭痛が続くため脳神経
外科を受診した。

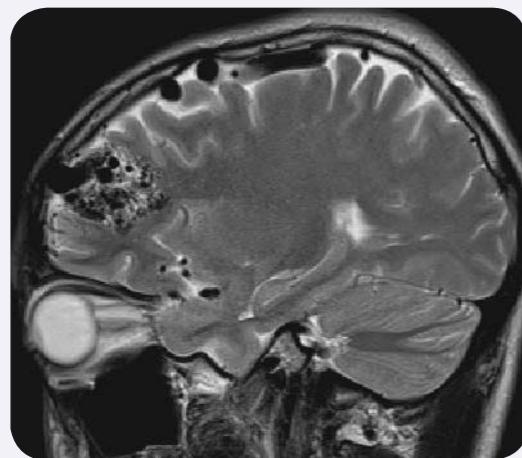
単純CT



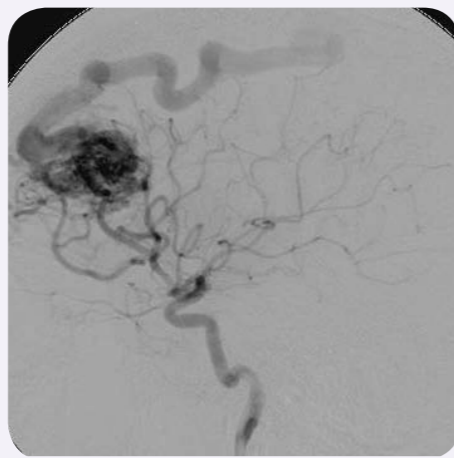
MRIのT2強調像



MRIのT2強調像 矢状断像

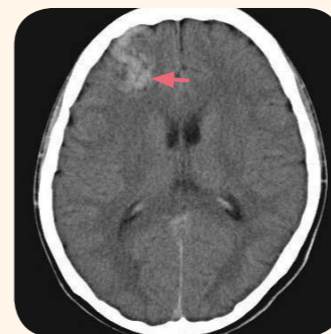


DSA像 (右内頸動脈造影)



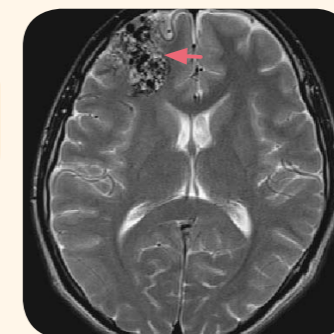
画像所見

単純CT



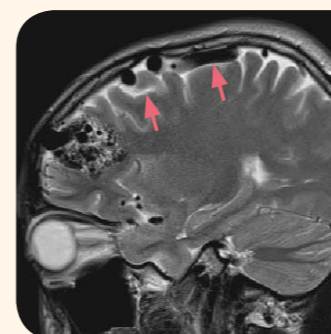
右前頭葉皮質
下に異常血管
を疑う高吸収域
を認める(→)。
mass effect
は乏しい。

MRIのT2強調像



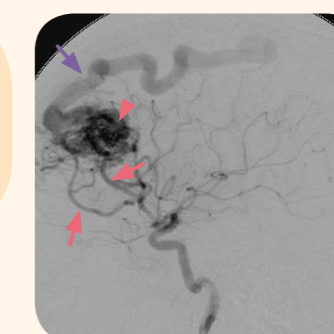
右前頭葉皮質
下に異常に発
達した血管塊
(nidus)を認
める(→)。

MRIのT2強調像 矢状断像



nidusの他
に拡張した
静脈(流出
静脈)が描
出されてい
る(→)。

DSA像 (右内頸動脈造影)



nidusに流入
する動脈(→)
とnidus(▲)、
流出静脈(→)
が描出されて
いる。

Q1



脳動静脈奇形とはどんな疾患ですか？

脳血管奇形は病理学的に、①脳動静脈奇形、②海綿状血管腫、③静脈性奇形、④毛細血管拡張症の4つに大別されています。脳動静脈奇形 (arteriovenous malformation, 以下 AVM) は、動脈と静脈が毛細血管を介さず直接連続する疾患で、短絡部分の異常な血管塊を nidus と呼びます。nidus には脳実質が介在しており、nidus に流入する動脈を流入動脈 (feeding artery)、nidus から流出する静脈を流出静脈 (draining vein) と呼びます。脳 AVM の多くは天幕上 (大脳領域) にみられ (75 ~ 90%)、後頭蓋窩では 10 ~ 15% 程度みられるといわれます。天幕上では側頭頭頂葉に多いとされます。

